

川崎運送労働組合 第73回定期大会

川崎運送労働組合は、2018年9月16日（日）10時より、サンパイン川崎 第3会議室にて、第73回定期大会を開催しました。

定刻になり、橋本副執行委員長の開会あいさつで始まりしました。大内資格審査委員長より、大会成立要件が全て整っている事を確認、改めて定期大会の開会を宣言し、並木代議員・中村代議員、両名が議長団に選出され、続いて、石川代議員・蓮沼代議員が書記に任命されました。

大会主催者として、阿部執行委員長より、代議員と来賓に対して感謝を述べた挨拶がされた。来賓には、上部団体である、運輸労連神奈川県連合会より、名張副執行委員長（日新労組）、友好単組の日通川崎運輸労組・中島執行委員長、神奈川風車共闘協議会・上田議長（楠原輸送労組）、飯塚正良川崎市議会議員、準組織内議員の織田勝久川崎市議会議員が激励に駆け付けて頂きました。

県連・名張副執行委員長は挨拶の中で「今年立て続けに発生している自然災害について、被災された全ての方々に対しまして心からのお見舞いとお悔やみを申し上げた。その中で、激甚災害にも指定された「平成30年7月豪雨」に対して運輸労連は緊急支援カンパとして、一人百円を目標とした自主カンパのお礼がされました。更に昨年、運輸労連の総力を挙げた「時間外の上限規制」や「休日労働を含めた取り扱い」などについての報告がされた。

中島執行委員長の挨拶では、「運輸労連神奈川県連合の下で、我々働く仲間であり、人と人の繋がりを大事にして、共に頑張っていきましょう」と激励して頂きました。

上田議長の挨拶では、楠原労組・川一労組・新栄労組・川崎労組の4単組で組織している、神奈川風車共闘協議会の説明と年間活動報告がされた。また、この定期大会で退任する照井書記長（神風では事務局長）に対して、感謝の気持ちが伝えられた。



県連・名張副執行委員長

日通川崎労組・中島委員長

神風・上田議長

飯塚・織田両市議からは、川崎市議会の報告、来年の4月に行われる、第19回統一地方選挙に向けた（飯塚市議7回当選・織田市議4回当選）気合が入った、挨拶がありました。



飯塚正良川崎市議会議員

織田勝久川崎市議会議員

望月特別執行役員

来賓退席の後に、上部団体や友好単組から多くの祝電を頂きました。代表して運輸労連 難波中央執行委員長・赤松広隆 衆議院議員・川崎運送代表取締役社長 高橋浩治氏の祝電が披露された。この場を借りて感謝申し上げます。

(10 分間の休憩を挟み)

議長が並木代議員より中村代議員に交代され大会が再開しました。2017 年度一般経過報告を竹内書記次長・2017 年度決算報告を中森会計係・会計監査報告を大島会計監査が行い、全体の拍手で承認されました。

続いて、議案審議に入り、第 1 号議案 2018 年度活動方針（案）を照井書記長・第 2 号議案 2018 年度予算（案）を中森会計係が提案され、満場一致で承認されました。

選挙管理委員会より、役員定数の提案があり 2018 年度の新執行部が紹介され、新役員が意気込みを述べました。望月特別執行役員からは、記憶と記録の伝承として過去におきた事件にふれ、「事件がおきた事は極めて残念だったが、そこから学び得た教訓を活かし再発防止に取り組んでいる、事件を風化させない為に」と、あえて厳しい挨拶になった。

続いて、執行部を代表して阿部執行委員長より、「退任する、照井前書記長・大島前会計監査、両名に対して、これまでの功績に対して感謝の意を伝えた。また、各拠点の小さな問題点を解決する事で、拠点が良くなり布いては、会社全体が改善していく事になる。」と述べ、組合活動の重要性について語りました。



阿部執行委員長



照井前書記長



大島前会計監査

スローガン採択に移り、議長の読み上げの後、全体の拍手で承認され、すべての協議が可決承認されました。

議長が大会役員・書記を解任し、議長に代わって小川書記次長が閉会までの進行役に付き、議長団に対して、労いの言葉をかけ全体の拍手で議長団を解任しました。

議長団降壇にあたり、「労働組合が会社に求めるものは、安全で安心して働ける環境です。そのためにも古い考え方ではなく、時代にそった考え方をバランスよく会社に提案しなくてははいけない。」と閉められました。

最後の、阿部執行委員長のガンバロー三唱で、閉会しました。